

(様式1)

自己評価表(令和5年度)

愛媛県立宇和島水産高等学校

学校番号(41)

教育方針	人格の完成を目指し、平和的な国家及び社会の形成者としての普遍的な資質を養うとともに、我が国の水産業界・海洋関連業界を進歩発展させるために必要な専門的な知識と技術を習得させ、職業人として国家社会に貢献する有為な技術者を育成する。	重点目標	<p>1 我が国水産業・海洋関連産業の産業的使命を自覚させ、国際感覚を持った職業人としての資質(能力・気力・体力)と実践力を育成する。</p> <p>2 職業人として必要な自律・協同及び勤労の精神を培うとともに、時代に適応した知識・技能を身に付けたスペシャリストを育成する。</p> <p>3 実践体験を通して学習意欲を喚起し、問題解決能力や創造性の育成に努め、自主的に研究する態度を養う。</p> <p>4 一人一人の個性に応じた指導を心掛けるとともに、豊かな人間性の育成に努める。</p> <p>5 地域社会との連携を深め、水産・海洋教育の振興に努める。</p>
------	---	------	---

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
学習指導	学習の習慣化	1日2時間以上の家庭学習を確保させる。 A: 2時間以上 B: 1時間30分~1時間59分 C: 1時間~1時間29分 D: 30分~59分 E: 29分以下	C	平日43.5時間(D) 休日48.2時間(D) 調査中144.4時間(A) 平均78.7時間(C)	クラスによって学習時間に差があるが、特に平日や休日の家庭学習について継続して指導していきたい。
	基礎学力の充実	校内漢字テスト・英単語テスト・計算力テストにおける80点以上の生徒の割合40%以上となるよう指導する。 A: 各7回以上 B: 各6回以上 C: 各5回以上 D: 各4回以上 E: 各3回以上かそれ以下	A	漢字テスト7回(A) 英単語テスト7回(A) 計算力テスト8回(A)	すべてのテストにおいて達成することができた。しかし、生徒間の点数差が大きいため、放課後等も利用して指導していきたい。
	思考力・判断力・表現力の育成	各科目において、授業に関する内容を自ら調べたり学んだりさせる。 A: 10割の生徒が活動できた B: 8~9割 C: 6~7割 D: 4~5割 E: 3割以下  各科目において、自分が調べたことや学んだこと、自分の考えを発表させる。 A: 10割の生徒が活動できた B: 8~9割 C: 6~7割 D: 4~5割 E: 3割以下	B	自己評価4及び3(78.2%)  自己評価4及び3(75.1%)	授業によっては自ら調べたり学んだりする時間を取れないこともあるが、生徒が主体的に学習に取り組めるよう、今後も継続して取り組んでいきたい。  授業によっては発表させる機会が少ないこともあるが、今後も継続して取り組んでいきたい。
生徒指導	基本的生活習慣の確立	1か年皆勤者、各学年65%以上を目指す。 A: 65%以上 B: 60%以上~65%未満 C: 55%以上~60%未満 D: 50%以上~55%未満 E: 50%未満	E	遅刻、欠課、早退、欠席(寝坊、通院、体調不良、家庭の都合)者多数	学年団を中心に、家庭としっかり連携する。自己体調管理、本人の意識向上を図りたい。
		身だしなみ指導での再指導者数、各学年5%以下を目指す。 A: 5%以下 B: 6% C: 7~8% D: 9% E: 10%以上	A	生徒課まで上がる問題はなし。□	身だしなみ校則改定案が生徒会から上がってくる予定である。生徒課員と話し合いをしっかりと行っていきたい。
	豊かな心・健やかな体の育成	部活動加入率100%を目指す。 A: 100% B: 90%以上~100%未満 C: 80%以上~90%未満 D: 70%以上~80%未満 E: 70%未満	B	2, 3年生(男子)8名が未加入	現部員をしっかりと指導し、継続努力を行っていく。部活動数の精選を視野に入れなければならないと考えている。
	奉仕精神の育成	ボランティア活動をする生徒90%を目指す。 A: 90%以上 B: 80%以上~90%未満 C: 70%以上~80%未満 D: 60%以上~70%未満 E: 60%未満	A	宇和島道路高架橋下清掃:全校生徒参加 海の日の清掃活動:全校生徒の半数参加	引き続き、参加を呼び掛けていく。
	安全教育の徹底	交通マナーを徹底し、登下校、休日の事故件数ゼロを目指す。 登下校時のヘルメット着用率100% A: 事故0(着用100%) B: 事故3以下(着用95%以上) C: 事故5以下(着用90%以上) D: 事故7以下(着用85%以上) E: 事故8以上(着用85%未満)	B	2年生女子:冬休みアルバイトに行く途中に車と衝突。 2年生女子:前を走っていた自転車が雪で滑って、その自転車と衝突。	ホームルーム活動、生徒集会、交通安全街頭指導を通して、根気よく説諭を行っていく。

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
進路指導	進学指導の充実	第1志望校合格100%を目指す。 A: 100% B: 95%以上～100%未満 C: 90%以上～95%未満 D: 85%以上～90%未満 E: 85%未満	A	今年度は4年制大学への進学希望がなく、11名が短大、専攻科、専門学校等への進学が決まった。面接指導など、一人一人の試験に応じた個別指導を充実させることで全員が第1志望の学校に進学することができた。	1年次より進路指導の場面を多く設定し、早めに進学に対する目標を設定し、対策を始められるように指導する。学年、教科担任を中心に個々の希望に応じた指導を計画的に行い、生徒の希望する進路の実現を目指す。
	就職指導の充実	就職希望者の就職率100%を目指す。 A: 100% B: 95%以上～100%未満 C: 90%以上～95%未満 D: 85%以上～90%未満 E: 85%未満	B	就職希望者のうち、学校推薦で試験を受けた生徒は全員内定をいただくことができた。縁故就職や自営業の生徒も就職先が決定した。1名のみ未定となり、就職率は96%であった。	1年次より進路指導の場面を多く設定し、早めに就職意識を持たせる。様々な職業や自己の適性を研究し、職場見学等を通して自分自身が納得して就職試験に挑戦することができるよう指導を行っていく。
		就職希望者の水産・海洋・食品系分野への就職率55%以上を目指す。 A: 55%以上 B: 50%以上～55%未満 C: 45%以上～50%未満 D: 40%以上～45%未満 E: 40%未満	A	就職希望者のうち、水産・海洋・食品分野への就職は58%であった。昨年は少なかった養殖・漁協関係への企業や、食品製造・調理・管理関係の企業への就職も増えた。	学校教育全般において、3年間学んだ専門分野を生かした就職先に就くことや、水産業に携わって地域を支えていくことの大切さなどを継続的に伝えていく。
	資格等取得者の増加	資格試験等に積極的に取り組み、卒業時に一人1資格以上の取得を目指す。 A: 100% B: 90%以上～100%未満 C: 80%以上～90%未満 D: 70%以上～80%未満 E: 70%未満	B	卒業時に1資格以上取得している3年生は97%であった。専門学科の資格取得を中心に積極的に取り組んだ成果だと思われる。	専門科目における資格取得を第一目標とし、漢字検定や英語検定などの一般教科の資格や工業、商業系の資格にも積極的に挑戦するよう働きかける。受験者には補習等の指導を充実させて合格を目指す。
業務改善	時間外労働の削減	一人1台パソコンや校務系ネットワークの活用により業務の更なる効率化及び平準化を図る。引き続き有給休暇等の取得促進に努める。	C	一人1台パソコンや校務系ネットワークの活用が生徒および教職員間で着実に浸透しつつある。有給休暇についても、多くの先生方が積極的に取得することができた。	一人1台パソコンや校務系ネットワークを更に活用するために、各自が技術を学び習得する機会を設ける。
	職場環境の整備	衛生委員会の充実及び実効性を高める。教職員のメンタルヘルスを向上させるため、健康相談や健康講座の実施に努める。事務課との連携により施設設備の充実に努める。	C	衛生委員会を中心に、教職員のメンタルヘルスを保つために、積極的な声掛けや健康相談の機会を持つことができた。事務課との連携により、校内施設を充実させることができた。	施設・設備の更なる充実と教職員のメンタルヘルス改善のための健康相談の機会を定期的に設けるよう努める。

※ 評価は5段階（A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。